

会長挨拶

第25回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会
会長 八田 陽一郎
(琵琶湖大橋病院 整形外科)



この度、第25回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会を2022年11月17日と18日の2日間、京都市で開催いたします。

日本低侵襲脊椎外科学会は、脊椎脊髄病学の中でも特に低侵襲手術を専門とするメディカルスタッフを含めたさまざまな分野の方々が、日本全国から一堂に会する学会です。会期中は、基礎から臨床に至るさまざまな低侵襲脊椎手術の最先端について討論いたします。また、本学会の特徴は、最小侵襲の内視鏡手術はもちろん、通常の脊柱変形の矯正術などの大侵襲手術の低侵襲化まで幅広い領域をカバーすることです。

第25回の学会テーマを“新しい価値の創造”としました。近年の世相に伴い価値観の変容は大きなものとなりつつあり、普遍的なものや新しいものが混在しています。その中でわれわれが提供している医療がどのような価値を持つのかを幅広い視点でとらえることで、社会からの要請に的確に応えていくことができると考えます。今回は特に“Lifelong spine care”という観点で特別企画、特別講演を企画しました。さまざまな立場のエキスパートである演者の先生方から、われわれの診療指針に役立つ多くのヒントをいただけるものと期待しています。また、主題におけるディスカッションにおいても、今後の低侵襲脊椎外科治療を考える上での課題を明らかにしていければと考えています。

COVID-19による不穏な時期が続いておりますが、今回は現状を鑑み現地開催のみとしました。多くの先生方と秋の京都でお会いし、熱のこもった討論が展開されることを楽しみにしております。